



美術館たより

☎(63)7788

〜平和を願う画家たちの魂〜

ヒロシマ展

9月25日(月)まで

夏休みイベントのご案内

夏休み期間中(8月29日(火)まで)

町内の小・中学生及び同伴の保護者の方の観覧料を無料とします。

・親子で楽しむ美術館

8月20日(日)午後2時〜3時

・子どもスケッチ教室

8月14日(月)、15日(火) 2日間
午前9時〜12時

・湯河原ゆかりの美術館ポスター展

〜特別展の軌跡〜

9月25日(月)まで

詳細は湯河原ゆかりの美術館まで



絹谷幸二「MAYUMI」

原爆投下された広島は人類史上かつてない悲惨な体験をしました。
広島市現代美術館は広島だけができる特別なコレクションを作るため、国内外の芸術家に「ヒロシマ」をテーマとした美術品の制作を依頼しています。

今回はその収蔵品の中から、『破壊この悲しみを繰り返さない』『遅い復活 人の愛は崩壊を乗り越える』『悠久の平和へ 眠れる人たちがへの誓い』という三つのテーマに沿って展示します。

終戦から60年以上が経ちますが、平和を願う気持ちは一層高まっています。芸術家たちのメッセージを通して平和について考えてみるのはいかがでしょうか。

〜美術の話を聞きに来ませんか〜 ギャラリートーク

【日時・内容】
8月8日(火) 午後2時から
第1部 朗読ボランティア五人会による朗読
第2部 ヒロシマ展作品解説(当館学芸員)

8月20日(日) 午前10時から
ヒロシマ展作品解説(当館学芸員)

【会場】湯河原ゆかりの美術館
【参加料】無料
(ただし、観覧料が必要です。)

【休館日】毎週水曜日

【開館時間】午前9時〜午後4時30分(入館は午後4時まで)
毎月第3日曜日の家庭の日は、町民の方は観覧無料です。

観覧料 円

小中学生	大人	一般	割引券	町民
300	600	300	500	400
200	500	200	400	200

一喜一憂

「夕焼けの 似合う子どもが いない」
「こんな時事川柳ができるほど日本の安全神話は崩れてしまいました。子どもが被害に遭うのは下校途中、自宅から百メートル以内の場所が最も多いと聞けば、子どもを持つ保護者にとつては戸外に出す子どもがどんな危険にさらされるか不安でならない夏休みを過ごしていることと思います。」

幼稚園に送る安全な方法のほうですが、送る母親が娘の友だちである園児二人を殺害したり、二軒隣の顔見知りのおばさんから声を掛けられ、何の警戒心も持たず、愚かな大人のなすがままに首を絞められてしまった米山豪憲君。子どもも保護者も、どこが安全で、誰を信じていいかわからなくなりそうです。

全国各地で子どもを犯罪から守る取り組みが行われ、県内でも横浜市が防犯チェックシートを市立の小中学校の全児童生徒に配布しています。これは、見知らぬ人からの誘いの手口を例に「すぐ逃げる」「距離を置く」などの対応策で、保護者と一緒に考え防犯マップも作成されました。

本町におきましても、防犯マップをはじめ消防署、赤バイ隊パトロールや民間のわんわんパトロール隊、小中学生には二年前から防犯ブザーの配布を始めてまいりました。

しかし、防犯ブザーを鳴らしても、誰も気づいてくれなければ効果はなく、過度の恐怖心、警戒心を持たせ、人を怪しむ目を育てることで人間不信を植え付けられないか。そこに防犯教育の難しさがあると思います。

何よりも大切なのは、自分の危険は、自分で避ける力を身に付けることであ

り、そこに至るまでは、地域ぐるみで子どもたちを守らなければなりません。特に最近の事件のように、容疑者は警戒を要する不審人物ばかりではなく、全くどこに魔の手が潜んでいるかわからない状況です。

各学校では保護者による防犯対策が進められておりますが、さらに関係者が主体となつて、防犯リーダーの育成を図り、警察だけに頼るのではなく、学校、保護者、町内会、子ども会など各種団体が意識的に協力する体制づくりを整えております。

世の中が変われば、生活も人の心も変わります。人のために役に立とうとするには勇気が必要とします。電車の中で言い掛かりをつけられている人がいたが、自分の身に降り掛かることを恐れて知らぬふりをしてしまったという話をよく耳にします。誰かが止めたら自分も一緒と思う人はいるでしょうが、自分が真っ先になることで英雄気取りにならないか。照れ臭い、恥ずかしい、そんな気持ちも働いてしまうのかもしれない。

素直な心で、よいと思うことに積極的に参加しようとする人の輪は、必ず広がるものと信じています。安全商品が巷にあふれる殺伐とした世の中。対策に妙薬がないからといって、安全を買う社会そのままでは不安の解消にはならず、一連の事件が投げかけた問いにどのような回答ができるか、自問が始まっています。

遊ぶ姿の似合う子どもたちが、海や山、近くの広場や公園で安心して思い切りはしゃぎまわる夏休みであつてほしいと願っています。

町長
米岡幸男

